

講座・部門紹介

基礎病理学講座(旧病理学第二講座)では、初代の佐藤春郎教授と2代目の中村久也教授が吉田富三先生の門下生として、がん転移や白血病の実験的研究において数々の業績を残しました。3代目の鈴木利光教授は、人体病理学に細胞生物学・分子生物学などの新しい手法を取り入れた分子病理学を発展させてきました。私たちスタッフは、これらの伝統をしっかりと受け継ぐとともに、現体制独自の研究を展開しているところです。

当講座では、病気の原因や病態を明らかにするために、教職員が目指すべき将来像と挑戦し続ける気持ちを持って研究に取り組んでいます。また、細胞生物学や分子生物学・生化学のさまざまな手法を取り入れるなど、テーマごとに最も適切な材料と方法を選択・構築して、研究を進めています。

本講座は、基礎と臨床の垣根を越えて自由に行き来できる自由な雰囲気のある教室であり、研究の重要性・面白さを体感できる場を提供します。研究・教育・病理診断を担う当講座教員は、それぞれ独立した研究者ですが、講座内はもちろん学内外の研究室とも連携して研究を推進しています。

staff スタッフ紹介



教授 千葉 英樹

昭和63年 札幌医科大学卒業

教育専門分野

病理学

研究分野

- 1) 実験病理学
- 2) 細胞生物学
- 3) 腫瘍学

研修医、臨床医入学時の研究分野

研修医、臨床医は、大学院生または大学院研究生として、原則として講座の研究テーマに沿った形で研究に携わります。研修医や臨床医は、各教員に指導を受けて日々研究に励み、その結果を講座の研究会議で定期的に発表します。また、研究対象としての病気の理解を深めるため、生検・手術材料の病理診断、病理解剖を学ぶこともできます。

講座・部門の主な研究内容

主要な研究テーマは以下の通りで、詳細は講座ホームページ(<http://www.fmu.ac.jp/home/p2/>)をご覧ください。

1. 細胞接着・極性形成とヒト疾患
2. 核内受容体の機能解析
3. 血液脳関門と脳疾患
4. 難治がんに対する新規分子標的療法の開発
5. がんの転移メカニズムの解明
6. 細胞外マトリックス分子lamininの機能解析

講座・部門からのメッセージ

基礎病理学講座は、研究を希望する全ての方に広く門戸を開放しています。医学部学生や大学院生はもちろん、研修医、臨床医、博士研究員も受け入れています。病理学、細胞生物学、腫瘍学などに興味のある方は、大歓迎ですので是非気軽においで下さい。研究に楽しさ・生きがいを見いだし、新しい発想・発見に触れる喜びを共有しましょう。